

## 河口域の様子

### ■今後の河口域の可能性

前回のレポートで「新たに砂が堆積した七北田川河口域には鳥の餌となるゴカイ等の生物がまだ入り込んでいないのではないか」と書いたが、今回の調査で砂の表面にたくさんのゴカイの仲間の巣穴を確認できた(Fig.2・3)。今後、河口干潟として多くの生物を育む環境となっていくのか、目を向けていきたい。



(Fig.1 砂が堆積した河口)



(Fig.2 ゴカイの仲間の巣穴)



(Fig.3 巣穴の拡大画像)

### ■たくましく生きる鳥

Fig.4は干潟で観察したハマシギである。Fig.5は同じ鳥を後ろから撮影したものであるが、この鳥は右足を失っている。天敵に襲われたのか、人工物に足を引っかけてしまったのか、何かのアクシデントで片足を失ったのであろう。しかし、軽快に干潟の上を移動し、餌を探していた。写真をよく見ると、左側に体を傾けてバランスをとっている。野生で生きる生物のたくましさや順応性を感じた姿であった。



(Fig.4 ハマシギ)



(Fig.5 ハマシギ 右足を失っている)